

6月議会速報・一般質問で明らかになりました

党議員の質問で◆放射能測定器2台目購入を表明
◆「防災無線が聞こえにくい」に「音達調査をします」など

木村奉憲議員

福島第一原発事故による放射能の現状と今後

問 放射能汚染の実態は。

答 市役所屋上だけでなく、地上1mと地表測定に改善し、公表もホームページ以外も検討する。

問 保育園、幼稚園、小中学校や市内の水質、土壌、農作物などへの測定を。

答 定期的な空気中測定のため、もう一台購入する。土壌測定も依頼する。

東日本大震災の久喜市内の被災について

問 屋根瓦、ぐし、塀などの被災現状と支援金を。

答 固定資産税、住宅改修貸付の利子補給などする。見舞金は考えていない。

新久喜市の液状化マップ作成について

問 液状化、軟弱地盤、断層などの新久喜市の地図作成を。

答 24年度中に作成する。

炉心溶融し、爆発した原発
(福島第一・3号機)



南栗橋液状化被災について

石田利春議員

問 市の責任と久喜市独自支援は

答 国の制度である被災者生活再建支援法の適用に向けた要請とともに、久喜市独自の支援も検討していきたい。また、造成工事は適切に行なわれており責任はないと考えている。

問 被害認定(り災証明)の内容と審査結果を被災者に知らせるべきかどうか。

答 審査結果とデータを送付させていただく。

高くて払いきれない国保税引き下げるべき

統一に向けた市の取り組みは。

問 旧久喜市の税率が試算として出ている。

保険税を旧三町と比較するとどうか。

答 久喜市は0% 菖蒲13.7%増 栗橋13.8%増 鷲宮2.3%減
所得158万の世帯で248800円。所得に占める割合は15.7%となる。

渡辺昌代議員

防災に強い街づくりについて

問 久喜市建築物耐震改修促進計画の中で、市内公共施設の耐震化されていない60施設の耐震化、現状と今後の計画は。

答 診断済み51棟、平成23年診断予定1棟 未実施8棟、改修については、学校施設を優先に早期に着手したい。

問 防災無線の調査と改善は。

答 市内40ヶ所の音達調査を行う。

問 耐震改修にも独自補助をするべきでは。

答 調査研究をしていく

問 住宅リフォーム助成制度を創設すべき。

答 現在は考えていない。

問 防災倉庫の備蓄品の再点検について。

答 早い時期に拡充総点検を行う。

清久工業団地周辺地域の開発について

樹木・公園の管理など責任をあきらかにして対応してほしいこと、備前堀川の浚せつの要求をしました。

杉野 修 議員

内容が不十分なままで防災計画発表へ

策定中の地域防災計画には液状化対策と放射能対策がありません。それらを追加して発表するよう求めましたが、「いったんこれを出す」との答弁。「それまでは旧1市3町の計画が生きる」との見解。「であれば、栗橋町の計画には液状化の予防対策をすることになっているので、震災予防としての液状化対策を怠ったことになる。南栗橋は行政の不作为ではないか」と主張しました。(※「不作为」とは市がやるべきことを怠ったとの意味)

鷲宮の2駅前の整備を

「JR東鷲宮駅西口にトイレを」と「東武鷲宮駅西口の公園ベンチや遊歩道のガタつきを改修して」と質問。

東武駅西口は整備をするとの答弁を得ました。引き続きがんばります。

青毛堀川沿いの遊歩道



水道料金は値上げしないで

水道事業運営審議会で「値上げ答申」がされそうな情勢です。その根拠のもとにしている「浄水場」の統廃合計画や各種のインフラ整備については、議会にも諮っていないものです。計算根拠などを正しましたが、具体的な答弁は聞けませんでした。